

第49回 教育課程小委員会議事録

1 日時・場所

2014年3月21日（金・祝） 10:30-17:00 私立海城高校

2 参加者

矢島み、根本、瀧上、宮嶋、川村、上村、小尾、飯田、小林

3 前回議事録の確認

字句の一部修正した他は、議事録案の通りに承認された。

4 中教審関連・理数系学会・他研究団体等の情勢報告

○中教審・理数系学会・他研究団体等

- ・次期学習指導要領改訂に向けた準備として、教科調査官の異動があることが報告された。
- ・3/13に行われたCSERSの会合において、5/17に開催される高校必修理科に関するシンポジウムで、JpGUの小委員会で検討している案（B案）を紹介するように依頼があった。なお、B案の検討グループより講演者を選出することを確認した。

○教育問題検討委員会関連の報告事項

- ・JpGU次世代育成事業（4/13）について、当初の定員を上回る応募があり、応募者全員を参加させるべく、運営スタッフを増員する方向で準備中であると報告があった。なお、小委員会からは川村委員が協力することを確認した。
- ・現在、JpGU理事会で検討されている各委員会の名称変更に関して、教育問題検討委員会については、「地球惑星科学・教育委員会」という案を提案することを確認した。

○その他

- ・学術会議より、JpGUに対して防災教育に関して取り組むよう働きかけがある見通しであることが報告された。
- ・日本学術会議科学力増進分科会「高校理科教育検討小委員会」の準備会が3/12に開催され、高校必修理科に関する今までの検討経緯、今後の検討日程が話し合われたことが報告された。

5 各種働きかけの進捗状況について（現時点で継続中のもの）

地学教育の現状（特に地学基礎の履修率に関して）と今後の課題について、理事会での理解が十分に得られず、現時点で連合幹部が文科省へ出向くのは難しいとの報告がなされた。教育問題検討委員長、地学教育学会会長が文科省へ出向く方向で具体的な日程を詰めることを確認した。

6 協議

(1) 連合大会パブリックセッションでの提案に向けた科目検討

- ・改訂の根拠となる解決すべき課題、問題意識について、セッション冒頭の概要説明において、以下を提示することを確認した。
- *現在の教育課程では、ほとんどの高校生が、物化生地の4領域のうち3つしか学ばず、国民の科学リテラシー育成のためには、不十分な状態である。
- *JpGUは、防災・環境の観点から高校理科の内容を検討できるところに強みがある。
- *A案は、継続性のある現実的な対応として、地学基礎の問題点を修正し、解決を図る
- *B案は、4領域の全員必修を実現し、物化生地で区分された分科理科では学べない総合的なつながりを実現する。
- *C案は、各教科・科目に散在している防災・環境の内容を統合し、効果的な学習内容の構築を目指す
- ・上記を踏まえて、A案、B案に分かれて協議を行った。
- ・今回の検討成果をまとめた講演要旨について、教育問題検討委員会のHPにアップすると共に、セッション当日、紙での資料配付も行うことを確認した。

7 次回小委員会（WG）について

次回小委員会は4/13（日）に私立慶応高校（横浜市）を会場に行くことを決定した。